

令和 5 年 6 月 2 2 日
文教・福祉常任委員会資料
福祉こども部地域福祉課

令和 4 年度宇治市総合福祉会館の指定管理者事業報告について

宇治市指定管理者の指定の手續等に関する条例施行規則第 1 1 条に基づき、別紙のとおり報告いたします。

令和4年度 事業報告書

令和5年5月30日

施設名	宇治市総合福祉会館
団体名	宇治市社会福祉協議会
代表者名	会長 奥西 隆三

(1) 業務実施状況報告(令和4年度)

<p>【管理運営の方針と結果】</p> <p>(方針) 身体障害者福祉センター・老人福祉センター・福祉センターが一体になった市内唯一の総合福祉会館(以下「福祉会館」という)として、個人・団体の平等な利用を確保するとともに、宇治市社会福祉協議会(以下、「当会」という)という公民の中間的な立場での管理運営により、活動拠点としてのハード機能だけでなく、福祉関係諸団体間の連絡調整やボランティアのコーディネート等のソフト機能を通じて、地域住民の自主的な福祉活動の支援につなげていくことを目指しました。</p> <p>(結果) 例年、市内の福祉関係団体等が総会や日頃の活動の場として活用するとともに、団体の会議等も福祉会館で行われ、多くの市民が集う場となっています。令和5年3月13日以降は、マスク着用が利用者個人の判断となりました。個人利用、団体利用ともに会館利用状況が徐々に戻りつつありますが、市民への対応については、引き続きマスク着用による対応としています。</p> <p>自治会・町内会、営利を目的としない市内の様々な団体への当会の備品の貸出し、福祉会館を拠点に福祉・ボランティア活動を展開している各種団体等に関するポスター掲示・チラシの配架等を通じて様々な福祉情報の発信など、各団体への活動支援を行いました。</p> <p>なお、館内の経年劣化が進んでいる箇所については、適宜、安心安全に利用できることを目的に修繕を行いました。</p>
<p>【施設の平等利用の考え方と実施した対策】</p> <p>(考え方) 福祉会館の利用を希望する個人・団体が平等に利用できるよう、公平かつ柔軟な運営を目指しました。</p> <p>(対策) ・新たに利用申込みのあった団体については、福祉会館の利用趣旨に沿った活動内容であるかを確認した上で、できる限り利用可能となるよう配慮しました。 ・従来の貸し部屋・貸出備品の予約受付は、先着順ではなく予約受付開始日時を設定していましたが、コロナ禍の三密対策として、予約開始月の1か月前から利用希望を順次受け付ける方法に変更し、密を避けることができ、かつ公平に申請を受け付けられました。(部屋利用予約:使用月の4か月前の月頭9時より受付。備品貸出:使用月の2か月前の月頭10時より受付。) ・原則は3センター区分に基づいた部屋の貸出対応を行いました。空き部屋がある場合は、各センター区分に捉われず、できる限り多くの団体が利用できるよう対応しました。利用人数に見合った大きさの部屋の利用を呼びかけ、申込みが重複した団体には話し合いいただくよう調整しました。</p>
<p>【施設管理状況】 1. 利用拡大の取組結果</p> <p>◎令和4年度の取組結果 ・乳幼児用の部屋として運用していた部屋には、高機の備え付けがありませんでしたが、利用希望に応じ、イス、机を用意することで、会議等で利用できる部屋が増えました。</p> <p>【指定管理期間のこれまでの取組】</p> <p>◎令和3年度の取組結果 ・コロナ禍で他施設での使用ができない団体等に対して、一時的な利用をサポートしました。 ・Wi-Fiの整備により、オンラインを活用した利用がありました。</p>

<p>◎令和2年度の取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇治市によるひきこもり相談窓口「相談ルームあんど・ゆー」が令和2年10月から福祉会館1階に開所されました。この事業は、ほっこりスペースあいが市より受託し、平日の10時から17時の間、ひきこもりのことで、誰にも相談できず、悩みや苦しみを抱えている市内在住者を対象に、相談を受け付けました。 ・近年、深刻な社会問題となっているこの問題に対し、時代の要請に応じて、福祉会館としての機能や役割の向上に努めました。 ・福祉会館の利用について、当会ホームページや広報誌等へ掲載することで情報発信を行いました。特に老人福祉センターサークル協議会の新規立ち上げサークルについて、当会広報紙（社協だより）でメンバーの募集を行ったところ多数問い合わせがあり、新たなメンバー加入につながりました。 ・福祉会館利用申込は規則上原則1週間前までとなっていますが、部屋の空き状況に応じて当日申込みを受けるなど柔軟な対応を行うことで施設の利用促進を図りました。 <p>◎令和元年度の取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉会館の利用について、当会ホームページや広報誌等へ掲載することで情報発信を行いました。特に老人福祉センターサークル協議会の新規立ち上げサークルのメンバーについて、当会広報紙（社協だより）での募集には問い合わせなども多く、新たなメンバー加入につながりました。 ・福祉会館利用申込は規程上原則1週間前までとなっていますが、部屋の空き状況に応じて当日申込みを受けるなど柔軟な対応を行うことで施設の利用促進を図りました。
<p>【施設管理状況】 2. 広報実施結果</p>
<p>◎令和4年度の取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月発行の会館だよりを掲示、配布することで風呂利用可能日や、休館期間をはじめ、その他業者点検や消防訓練などの周知に努めました。 ・生きがい探しのすすめ（宇治市発行）への宇治市老人福祉センターサークル協議会の掲載 <p>【指定管理期間のこれまでの取組】</p> <p>◎令和3年度の取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会館利用案内の定員や連絡先、部屋名などを更新し、わかりやすい表示に努めました。 ・当会ホームページへの会館利用手引きの掲載 ・生き生き手帖（宇治市発行）への会館内事業の掲載 ・「市政だより」等へのイベント・研修・講座等の開催案内の掲載 ・福祉会館利用案内パンフレットの作成 ・当会広報紙での老人福祉センターサークル協議会の紹介および会員募集の掲載 <p>◎令和2年度の取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当会ホームページへの会館利用手引きの掲載 ・生き生き手帖（宇治市発行）への会館内事業の掲載 ・「市政だより」等へのイベント・研修・講座等の開催案内の掲載 ・福祉会館利用案内パンフレットの作成 ・当会広報紙での老人福祉センターサークル協議会の紹介および会員募集の掲載 <p>◎令和元年度の取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当会ホームページへの会館利用手引きの掲載 ・生き生き手帖（宇治市発行）への会館内事業の掲載 ・「市政だより」等へのイベント・研修・講座等の開催案内の掲載 ・福祉会館利用案内パンフレットの作成 ・当会広報紙での老人福祉センターサークル協議会の紹介および会員募集の掲載
<p>【施設管理状況】 3. 職員配置状況</p>
<p>事務局長の指揮命令のもとに、福祉会館の施設管理部門及び老人福祉センター運営部門として、一般嘱託職員及び短時間勤務嘱託職員を配置し、適切な施設管理、センター運営に努めました。</p>
<p>【施設管理状況】 4. 地域、関係機関、団体、登録団体等との連携結果</p>
<p>◎令和4年度の取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域つながり活動支援事業の一環として、居場所を求める点で共通している大学生ボランティア自身がその力を生かしていけるよう、つながりの場を持つことができました。

【指定管理期間のこれまでの取組】

◎令和3年度の取組結果

- ・ 当会が宇治市から委託を受け実施している学習支援事業では、コロナ禍でも充実した事業が展開できるように、より広い学習場所を確保するなど施設の有効活用を図りました。
- ・ 常設型の「宇治市災害ボランティアセンター」の運営では、多くの人が安心して参加できるように福祉会館の設備を活用してオンラインとの併用による研修も行われました。
- ・ ひきこもり相談窓口「相談ルームあんど・ゆー」では、情報発信等により、連携が図られました。

◎令和2年度の取組結果

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大予防のために、それぞれの地域でサロン活動を自粛せざるを得ない状況がありましたが、そのような中でも、つながりを絶やさない活動に価値を求めるグループが多くあり、当会では、オンラインによる新たなコミュニケーションツールを活用したつながりづくりの研修を行いました。その結果、男性の参加が多くあり、サロンに参画するひとつとして捉えることができました。
- ・ 福祉会館を活動拠点とする宇治ボランティア活動センターが奇数月に開催（5月、7月を除く。）する「ボランティアマッチングサロン」は、市民が福祉会館を知り、新たにボランティア活動を始めるきっかけとなりました。
- ・ 当会が福祉会館で実施している子育て支援事業を通じて、市内の子育て中の人達や子育てに関する団体等とのコミュニケーションが増え、子育て中の親同士の交流拡大につながるとともに、福祉会館の多世代利用が促進されました。
- ・ 外に出ることに困難さを抱えた青年達に対し、支援団体と連携し、館内の障子張り替え作業を通して、社会参加のきっかけづくりを行いました。
- ・ 当会が宇治市から委託を受け実施している学習支援事業では、福祉会館が市街地のほぼ中央に立地することから、市内の各地から中学生が集い、学習に励みました。
- ・ いざという時のため日頃からのつながりづくりを目指して、市内の各種団体の参画による常設型の「宇治市災害ボランティアセンター」の運営が展開されました。

◎令和元年度の取組結果

- ・ 福祉会館において各種障がい者団体や介護者家族団体などの当事者団体、ボランティア活動団体が市民向けの講演会、研修会等を実施することで、多くの市民が福祉への関心を寄せるきっかけとなり、福祉会館の有効活用に資しています。
- ・ 福祉会館を活動拠点として活動を行っている宇治ボランティア活動センターによる、「ボランティアマッチングサロン」の開催等で、市民が福祉会館を知り、新たにボランティア活動を始めるきっかけとなっています。
- ・ 当会が福祉会館で実施している子育て支援事業を通じて、市内の子育て中の人達や子育てに関する団体等とのコミュニケーションが増え、子育て中の親同士の交流拡大につながるとともに、福祉会館の多世代利用が促進されています。
- ・ 外に出ることに困難さを抱えた青年達に対し、支援団体と連携し、館内の障子張り替え作業を通して、社会参加のきっかけづくりを行いました。
- ・ 宇治ボランティア活動センターとの協働にて、福祉会館の一斉掃除を会館利用団体の皆さんと行いました。また、老人福祉センターサークル協議会もクリーン運動として会館清掃を行っていただきました。
- ・ 当会が宇治市から委託を受け実施している学習支援事業では、市街地のほぼ中央にある福祉会館で実施することで、市内の各地から中学生が来ることができています。
- ・ いざという時の日頃からのつながりづくりを目指して、市内の各種団体の参画による常設型の「宇治市災害ボランティアセンター」の運営が展開され、福祉会館での訓練も行われました。

【施設管理状況】 5. トラブル対応、防犯、防災対策状況

◎令和4年度の取組結果

- ・ 館内用靴袋を玄関口に用意していましたが、無断大量持ち帰りが頻繁に発生したため、窓口設置に変更しました。
- ・ 防犯対策については、各利用団体に対して利用時以外には部屋を施錠するよう呼びかけ、各利用者に対しては、貴重品の管理について注意喚起を行い、置き引き等への警戒を呼びかけました。

- ・防災対策として、通用口に簡易用ヘルメットを備え付け、緊急時に即時使用できるよう準備しました。
- ・気象警報（大雪警報）が発表された際には館内利用者すみやかに伝達し帰宅を促す一方、利用者の状況に沿いながら身の安全を確保してもらうことに努めました。

【指定管理期間のこれまでの取組】

◎令和3年度の取組結果

- ・当会が実施する福祉サービス等にかかる利用者からの苦情を解決するための体制を整理しました。
- ・トラブルが発生した場合には担当者と苦情受付担当者が速やかな対応を行うよう努めました。発生したトラブルは記録を行い、以後の対応に活かせるようにしました。
- ・防犯対策については、各利用団体に対して利用時以外には部屋を施錠するよう呼びかけ、各利用者に対しては、貴重品の管理について注意喚起を行い、置き引き等への警戒を呼びかけました。
- ・防災対策については、年2回の消防設備の保守点検等と8月と11月に消防避難訓練を行いました。
- ・台風時等の気象警報が発表された際には館内利用者すみやかに伝達し帰宅を促す一方、利用者の状況に沿いながら身の安全を確保してもらうことに努めました。

◎令和2年度の取組結果

- ・当会が実施する福祉サービス等にかかる利用者からの苦情を解決するための体制を整理しました。
- ・トラブルが発生した場合には担当者と苦情受付担当者が速やかな対応を行うよう努めました。発生したトラブルは記録を行い、以後の対応に活かせるようにしました。
- ・防犯対策については、各利用団体に対して利用時以外には部屋を施錠するよう呼びかけ、各利用者に対しては、貴重品の管理について注意喚起を行い置き引き等への警戒を呼びかけました。
- ・防災対策については、年2回の消防設備の保守点検等と8月と2月に消防避難訓練を行いました。
- ・台風時等の気象警報が発表された際には館内利用者すみやかに伝達し帰宅を促す一方、利用者の状況に沿いながら身の安全を確保してもらうことに努めました。

◎令和元年度の取組結果

- ・当会が実施する福祉サービスなどにかかる利用者からの苦情を解決するための体制を整理。
- ・トラブルが発生した場合には担当者と苦情受付担当者が速やかな対応を行うよう努めました。発生したトラブルは記録を行い、以後の対応に活かせるようにしました。
- ・防犯対策については、各利用団体に対して利用時以外には部屋を施錠するよう呼びかけ、各利用者に対しては、貴重品の管理について注意喚起を行い置き引き等への警戒を呼びかけました。
- ・防災対策については、年2回の消防設備の保守点検等と6月と3月に消防避難訓練を行いました。
- ・台風時等の気象警報が発表された際には館内利用者すみやかに伝達し帰宅を促す一方、利用者の状況に沿いながら身の安全を確保してもらうことに努めました。

【施設管理状況】 6. 利用者要望の把握状況及び実施策

◎令和4年度福祉会館利用者アンケートについて

- ・令和5年3月に会館利用者を対象としたアンケートを実施しました。
(準備枚数600枚 配布数528枚 回答者数293枚 回収率55.5%)
- ・回答では、運営面では満足の割合が高い結果となりましたが、施設面ではトイレのつくりや衛生面に関する不満が多い結果となっています。

【指定管理期間のこれまでの取組】

◎令和3年度福祉会館利用者アンケートについて

- ・令和4年3月に会館利用者を対象としたアンケートを実施しました。
(準備枚数600枚 配布数567枚 回答者数366枚 回収率64.6%)
- ・回答では、運営面では満足の割合が高い結果となりましたが、施設面では館内の明るさや備品についての要望、トイレや洗面所に関する不満が多い結果となっています。また、電気窯の自動電源オフ機能のあるものへの更新を要望する声が集中しました。

◎令和2年度福祉会館利用者アンケートについて

- ・令和3年3月に会館利用者を対象としたアンケートを実施しました。
(準備枚数300枚 配布数131枚 回答者数67枚 回収率51.1%)
- ・回答では、運営面では満足の割合が高い結果となりましたが、施設面では館内の明るさや備品についての要望、トイレや洗面所に関する不満が多い結果となりました。

<p>◎令和元年度のアンケートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年3月に会館利用者を対象としたアンケートを実施しました。 (準備枚数300枚 配布数51枚 回答者数37枚 回収率72.5%) ・新型コロナウイルス感染症拡大予防の影響による利用の自粛により館内利用者は激減しました。その結果、アンケートの配布数、回答数も大幅に減少しました。 ・回答では、運営面では満足の高割合の結果となりましたが、施設面では特にトイレや洗面所に関する不満が多い結果となりました。
<p>【サービス向上の取組内容】</p> <p>◎令和4年度の取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部屋の備品(机、椅子、白板等)の配置を見直し、部屋毎の利便性を良くしました。 ・館内で印刷、コピーされる方への利用カード廃止により、利用毎に窓口へ来なくても利用可能になりました。 ・黄ばみが進んでいた障子の張替えを実施し、お部屋が明るくなり気持ちよく利用できるようになりました。 <p>【指定管理期間のこれまでの取組】</p> <p>◎令和3年度の取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3階舞台床面の補修のため研磨および塗装をし、乳幼児も含め、安心して利用できるよう安全管理に努めました。 ・浴室シャワー混合栓を取り換え、温度調整しやすいよう安全に配慮しました。 ・高性能表面温度測定器の導入 従来に比べ高速で判定、音声ガイドもされるため受付での検温、マスク着用確認を効果的に行いました。 ・Wi-Fiルータの貸出 オンライン会議などに有効活用できました。 ・CO2センサーの貸出 密を避けるための判断や換気のタイミング等が数値で判断できるようになりました。 <p>◎令和2年度の取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「認知症の人にやさしいまち・うじ宣言」を掲げる事業者のひとつとして、認知症の人への対応など特に配慮が必要と考えられる人には行政や本人、家族とも対応を協議し、福祉会館を安心して利用できるように努めました。 ・窓口が混み合った場合には会館管理(窓口)担当職員だけではなく本会事務局全員で対応し、できる限り来訪者を待たせることなく対応することに努めました。 ・窓口付近の掲示版に各対応の案件を掲示し、職員全員で共有できるようにしました。 ・来館者へのあいさつ等、職員の接遇マナー向上も意識的に取組みました。 ・市民からの様々な問い合わせに対しては、職員間で情報を共有しながら、適切な関係機関を調べつなげるよう心がけました。 ・老朽化している設備の点検と修繕を行うとともに修繕箇所の早期発見に努めました。 ・9月～12月にかけて風呂を休止してボイラー他改修工事を行いました。 <p>◎令和元年度の取組結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓口が混み合った場合には会館管理(窓口)担当職員だけではなく本会事務局全員で対応し、できる限り来訪者を待たせることなく対応することに努めました。 ・窓口付近の掲示版に各対応の案件を掲示し、対応について各職員で共有できるようにしています。 ・来館者へのあいさつ等、職員の接遇マナー向上への意識的に取組みを実施しました。 ・市民からの様々な問い合わせに対しては、職員間で情報を共有しながら、適切な関係機関を調べつなげるよう心がけました。 ・老朽化している設備の点検と修繕を行うとともに新たな修繕箇所の早期発見に努めました。 ・2月に11日間風呂を休止してボイラー室の配管修繕を行いました。
<p>【管理経費縮減の具体策と結果】</p> <p>(具体策) 管理経費の縮減を図るために下記内容の取組みを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉会館全体の照明点灯の節約・点灯時間の短縮・昼休み時間の事務室の消灯

- ・冷暖房使用時の気温の徹底厳守（暖房利用：気温20度以下 冷房利用：気温28度以上）
- ・冷暖房使用時間の短縮（冷暖房とも閉館30分前に停止）
- ・3階大広間のパッケージエアコンについては、まずは全館空調機を優先させるようにスイッチに表示板を作成しました。運転時には設定温度を固定して適切に節電を行いました。

1) 光熱水費実績

▲は減少

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比増(%)
電気	Kwh	129,640	126,025	137,380	128,151	142,080	10.9
	千円	2,871	2,759	2,848	2,877	4,600	59.9
風呂ガス	m ³	8,515	7,734	3,447	3,924	4,835	23.2
	千円	1,038	945	412	541	855	58.0
空調ガス	m ³	17,132	16,369	21,136	17,217	20,655	20.0
	千円	1,611	1,473	1,701	1,770	2,900	63.8
水道	m ³	3,016	2,601	2,114	2,472	3,190	29.0
	千円	999	863	692	827	1,105	33.6
合計	千円	6,522	6,040	5,655	6,017	9,460	57.2

*各項目の金額は千円未満切り捨てているため、表内各項目の合計と、合計欄の金額は異なる場合があります。

【管理能力】職員研修計画と実施状況

◎令和4年度の取組結果

- ・福祉会館利用者も含めた消防避難訓練の実施（2回）
令和4年8月19日・令和4年12月19日に実施しました。多くの利用者の参加があり、改めて消防避難訓練の重要性を参加者全員で考える機会となりました。2回目は通報訓練、避難誘導訓練を繰り返し行うとともに実際の避難口、消火器、防火扉の全ての場所確認を全員で行いました。

【指定管理期間のこれまでの取組】

◎令和3年度の取組結果

- ・福祉会館利用者も含めた消防避難訓練の実施（2回）
令和3年8月3日・令和3年11月15日に実施しました。多くの利用者の参加があり、改めて消防避難訓練の重要性を参加者全員で考える機会となりました。実際の消火器を使用しての訓練ができ体感で覚えることができました。

◎令和2年度の取組結果

- ・福祉会館利用者も含めた消防避難訓練の実施（2回）
令和2年8月19日・令和3年2月22日に実施しました。多くの利用者の参加があり、改めて消防避難訓練の重要性を参加者全員で考える機会となりました。実際の消火器を使用しての訓練ができ体感で覚えることができました。

◎令和元年度の取組結果

- ・会館利用者も含めた消防避難訓練の実施（2回）
令和元年7月5日・令和2年1月31日に実施。多くの利用者の参加があり、改めて消防避難訓練の重要性を参加者全員で考える機会となりました。

【個人情報保護措置と実施状況】

- ・当会「個人情報保護規程」に基づき、個人情報の適切な管理に留意しました。
- ・個人情報が記載された台帳などは、関係者以外の目に触れないように施錠して保管を行いました。
- ・個人の電話番号等、連絡先照会の問い合わせに対しては、本人の同意を得ることとし、問い合わせ者の連絡先を聞いた上で、本人から折り返しかけてもらうように対応しました。

【情報公開対応と実施状況】

- ・福祉会館の管理運営にかかる情報公開については、宇治市情報公開条例及び当会情報公開規程に基づき対応することとしていますが、令和4年度は情報公開請求の公開実績はありませんでした。

(2) 施設利用状況報告(令和4年度)

【施設利用状況】 1. 会館利用者数

令和4年度の会館利用者数(センター別)

▲は減少

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 増減(%)
身体障害者福祉センター (団体利用)	8,067	6,582	1,602	1,662	2,561	54.1
老人福祉センター (団体利用)	38,653	33,954	20,627	20,055	31,204	55.6
老人福祉センター (個人利用/うち浴室利用者)	4,427/4,063	3,765/3,697	2,598/1,634	4,124/3,675	7,120/6,240	72.6/69.8
福祉センター (団体利用)	20,358	19,312	12,589	15,078	22,115	46.7
合計	71,505	63,613	37,416	40,919	63,000	54.0

【施設利用状況】 2. 貸館状況

令和4年度の貸館状況(団体数)

▲は減少

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対元年度比 増減(%)
身体障害者福祉センター	980	787	302	400	553	38.3
老人福祉センター	2,225	2,005	1,953	1,867	2,687	43.9
福祉センター	1,163	1,113	1,028	1,256	1,966	56.5
合計	4,368	3,905	3,283	3,523	5,206	47.8

(3) 管理経費収支状況報告(令和4年度)

施設名		宇治市総合福祉会館			
		予定金額(千円)	実績(千円)	内容	備考
収入	市からの指定管理料	31,149	31,149	会館管理 27,165 老人福祉センター 3,984	
	その他	200	200	U-POWER 冬の節電プログラム補助金 200	
収入合計(A)		31,349	31,349		
支出	人件費	15,458	15,469	給与・賃金・法定福利費 12,031 管理分 3,438	
	事務費	52	41	福利厚生費	
	管理費	15,735	15,653	消耗品費 234 水光熱水費 9,461 燃料費 7 修繕費 200 通信運搬費 74 保守委託料 5,214 手数料 6 保険料 28 使用料 135 租税公課 287 参加費支出 7	会館管理分
	事業費	104	186	消耗品費 88 通信運搬費 87 使用料 3 会議費 8	老人福祉センター分
支出合計(B)		31,349	31,349		
収支(A) - (B)		0	0		

※ 1年間の収支を記入すること(年度途中開館の場合は開館から年度末まで)
内容は詳細に記入し別途資料がある場合は添付すること

(4) - 1 事業実施状況報告(4年度)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
老人福祉センターサークル 支援事業	<p>老人福祉センター登録のサークルを対象に活動の場の調整、情報提供、交流事業等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サークル数：17 ・登録者数：285名 ・会合 総会(3月20日) 役員会 12回 代表者会議 11回 ・社協会長杯競技大会(6月6日延期開催) 囲碁24名、将棋23名参加 ・ボランティア活動センター会館清掃交流会 (6月27日開催)2名 ・シルバーウェルネス舞台発表大会 (9月30日開催) 9サークル130名参加 ・シルバーウェルネス展示発表大会 (10月8、9日開催) 5サークル34名参加 ・歴史健康ウォーク「宇治まちなみ散策」 宇治川先陣の碑と恵心院 (10月25日開催)19名参加 ・歴史健康ウォーク「もみじ狩り」 (11月28日開催)18名参加 ・クリーン運動(12月5日開催)40名参加 ・カラオケ大会(12月12日開催)25名参加 ・年度末発表大会(3月6日) 舞台8サークル91名、展示5サークル28名参加 	左記の通り

(4) - 2 事業収支状況報告(4年度)

団体名 宇治市社会福祉協議会

(単位:千円)

事業名	事業実施予算・決算等						
	参加人数と 1人あたり 参加費	収 支 (A) - (B)	収入		支出(B)		
			指 定 管 理 料	参 加 費 (A)	講 師 謝 金	材 料 費 等	そ の 他
老人福祉センター サークル支援事業		-69	69	0	0	20	49
	31,204人 参加費0円	-34	34	0	0	9	25
計		-69	69	0	0	20	49
	31,204人 参加費0円	-34	34	0	0	9	25

※ 各欄上段=予定額、下段=実績で記入すること